

人口増加が語る 大村市の魅力とまちづくり

大村市長 園田 裕史



明けましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎え、市民の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素より大村市におけるさまざまな活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

積み重ねがあります。これに加え、本市では市民向けポータルアプリ「おむすび。」を活用し、地域内助け合いサービス、デジタル地域通貨「ゆでび」の導入など、多様な生活支援機能を展開しています。

一方、老朽化が進む本庁舎については、令和10年度以降の供用開始を目指して新庁舎の整備を進めており、誰もが安心して利用できる市役所を目指してまいります。

昨年を振り返りますと、4月に県内初となる「フォレストアドベンチャー・おおむら長崎」がオープンしました。新たなアウトドアアクティビティの誕生は、本市の自然を活かした賑わい創出の非常に重要な観光拠点になると考えています。また、ポートレース大村においては、売上額が5年連続の日本一を達成しました。引き続き、6年連続の日本一を目指して取り組んでまいります。

本市は県内で唯一、50年以

上にわたり人口増加を続け、まもなく10万人の万台に届くとしています。この背景には、子育て支援や教育環境等の充実に向けた地道な施策の

結びに、皆さまにとりまして本年が輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

西九州道開通が呼ぶ新たな活力 20年の歩みから次の一歩へ

松浦市長 友田 吉泰



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和8年の新春をお健やかに

かにお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は市政に対し格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

松浦市は平成十八年一月に旧松浦市、福島町、鷹島町の一市二町の合併により誕生し、本年一月一日をもって市政施行二十周年の節目の年を迎えることとなりました。これもひとえに関係各位の多大

なるご尽力と、そして何よりも市民皆様方のご支援ご協力の賜物と存じます。

さて、昨年十二月には西九州自動車道松浦佐々道路の松浦IC―平戸IC間が開通いたしました。これにより、西九州自動車道の松浦市内区間はすべて供用することとなり、市内交通の利便性の向上はもとより、周辺市町へのアクセス性の向上による新たな企業立地や雇用創出など、地域産業の活性化が期待されます。開通に際し、ご尽力いただきました本県選出の歴代国

「二次産業の再生」 「暮らし選ばれる平戸づくり」へ

平戸市長 松尾 有嗣



新年明けましておめでとうございます。

望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より市政に對しまして温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

合併後の平戸市の第3代市長として、私が掲げる重点政策の一つ目は「二次産業の再生」です。コメ価格高騰や国際情勢の影響を受ける今こ

そ、地域の生産力と食の安全保障の強化は早急に取り組むべきものであり、スマート農業の導入や販路拡大支援、担い手の育成などを通じ、「稼げる一次産業」への転換を目指してまいります。

また「暮らし選ばれる平戸」づくりにも力を注ぎます。空き家の活用、子育て環境の充実、テレワークの拠点整備など、市民一人ひとりが「住んでよかった」と実感できるまちを築いてまいります。

さらに、「離島も山間部も取り残さない」安心の社会を実現するため、医療・交通・防災の基盤整備の強化に取り

組みます。離島航路支援、市立病院機能の再編、遠隔医療の導入など、市民の安全と生命を守る取り組みを進めてまいります。

そして私は、何より「開かれた市政」を強化してまいります。タウンミーティングの開催など市民の声がまちの未来を動かす仕組みづくり、行政が市民の皆さまから最も信頼されるパートナーとなるよう、誠実さとスピード感を

持つて取り組んでまいります。私はこれまで国政の最前線で政策立案やさまざまな調整に携わり、数多くの地方の声とも向き合ってきたと

た。その経験と人脈を最大限に活かして、いまこそ故郷・平戸の未来を明るくするべく尽くしてまいります。

平戸には、歴史や自然、豊かな海の幸、山の幸とたくさん